

第1回県立広島大学宮島学センター 公開講演会

平成21年4月、県立広島大学は「宮島学」研究と「宮島学」教育、そして地域連携のために、学内に宮島学センターを設置しました。宮島学センターの設置を記念して、第1回公開講演会を三原市教育委員会と共催で開催します。今後、年1回、県内各市町教育委員会との共催で公開講演会を実施する予定です。

■ 日 時：平成21年12月12日（土）13:30～16:00

■ 会 場：三原市中央公民館 中講堂
(三原市円一町二丁目3番1号, JR三原駅より徒歩で10分)

■ 内 容：講演1「厳島信仰と法華経」 県立広島大学教授 樹下 文隆

厳島の神は竜神の娘だと、中世には一般的に考えられていました。また、真言・天台を初め仏教諸派は、寺院の縁起や宗祖伝において厳島と関係づける言説を残しています。このような厳島信仰の背景には、平家納経の存在があったと考えます。平家納経の中核をなす法華経は、日本の思想・文化に大きな影響をもたらしました。竜女成仏、王法仏法、弁才天などをキーワードに、厳島信仰の中世的意味を、法華経信仰との関係で読み解きます。

講演2「厳島合戦と小早川隆景」 県立広島大学教授 秋山 伸隆

弘治元年(1555)10月1日未明、安芸厳島において毛利元就が陶晴賢を破った厳島合戦は、毛利氏が戦国大名として雄飛するきっかけとなった重要な戦いでした。この合戦において、元就の二男で小早川家を相続していた隆景は、どのような役割を果たしたのでしょうか。合戦の前年である天文23年(1554)に遡って、地域的には備後にも視野を広げて、瀬戸内海の海上勢力(水軍)との関係を中心に、隆景が果たした役割を明らかにします。

■ 受講料：無料

■ 募集人数：150人程度

■ 申込方法：三原市教育委員会生涯学習課に申し込んでください。
(TEL0848-64-2137, FAX0848-64-0137)

■ 申込締切：平成21年12月11日（金）

■ 申込・問合せ先：三原市教育委員会生涯学習課 電話0848-64-2137

■ 主 催：県立広島大学 宮島学センター/三原市教育委員会